

2008 年度新堀川の水環境

2008 年 4 月から NPO 法人堀川まちネットでは新堀川の水環境調査を行っており青潮発生の調査をお知らせします。

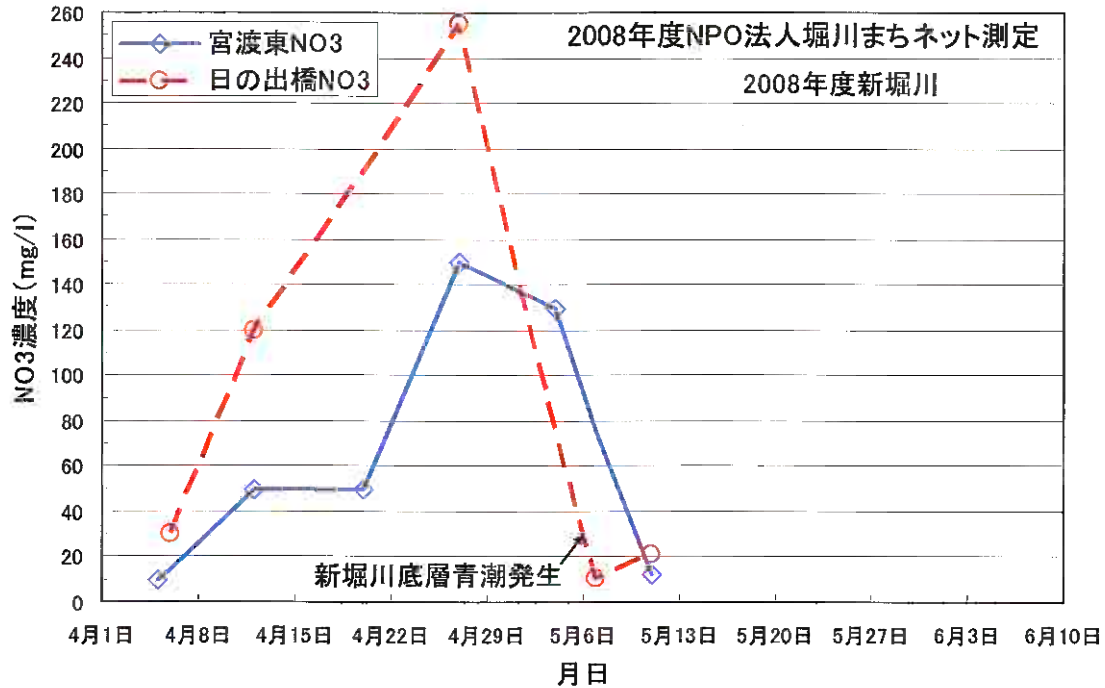


図-1 新堀川の NO3 変化

今年も春から初夏にかけて青潮の発生する季節となり、特に名古屋市では新堀川や山崎川では青潮が発生がし易い場所で知られています。

新堀川の日の出橋（瑞穂区）および河口（熱田区）にて測定した硝酸（NO3）の変化ですが、その変化から新堀川の底層にて青潮が発生している状況をとらえることができました。

青潮発生後には NO3 等が激減することが知られており 1)、図-1 のグラフから見ますと 5 月 5 日から 6 日にかけて青潮が発生しているようです。

今後、これらの発生を繰り返して新堀川の青潮が本格的になると、堀川へ拡散し潮汐により納屋橋付近まで青潮が遡上し貧酸素化した状況が数ヶ月続くものと推察されます。

今年山崎川でも 4 月 15 日ころには川底が青潮化していたとの報告があり、例年より青潮の発生が早まっているようです。

文献

1)：海洋情報部技報、「東京湾奥部における底層溶存酸素濃度の時間変化（2003 年-2005 年）」、VOL. 24. 2006



2008年4月11日新堀川の水の色



2008年4月20日新堀川河口でのスカム*と水の色



2008年4月27日新堀川に流れこむ下水処理排水と水の色

*:スカムは川底に堆積したヘドロや細かい有機物等の混合物で水温の上昇とともに水面に現れます。川底が酸素が無いことが多いため硫化鉄などを含み黒くなります。